

【訂正】(2015年2月23日) リリースに誤記がございましたので、訂正いたします。

(第3段落 1行目)

誤: シンメトリカル AWD (All Wheel Drive) の生産累計台数～

正: AWD (All Wheel Drive) の生産累計台数～

2015年2月17日

## 富士重工業 水平対向エンジン生産累計 1,500万台を達成

富士重工業は、このたび水平対向エンジン累計生産台数\*1 1,500万台を達成しました。1966年に水冷水平対向4気筒アルミエンジンを新開発し、同年5月に小型乗用車「スバル1000」に初めて搭載してから、49年目での達成となります。

水平対向エンジンは、ピストンが左右に向き合う形で配置され、対向するピストンが互いに慣性力を打ち消し合うため、低振動で回転バランスに優れ、高回転域まで滑らかに吹き上がるフィーリングを得ることができます。またエンジン全高が低く、車体の低重心化にも貢献しており、高い走行安定性やハンドリング性能にも寄与しています。スバルは、この水平対向エンジンの特性にこだわり、長年に渡り独自に提案し続け、現在に至るまで改良を重ね、様々な車種への展開を図ってまいりました。

また、AWD (All Wheel Drive) の生産累計台数\*1 は1972年9月に発売した「スバル レオーネ 4WD エステートバン」へ初搭載して以降、先月で1,400万台を達成しました。中でもシンメトリカル AWD は、AWD が本来持つ優れた走行安定性や走破性に加え、縦置きに配置した水平対向エンジンを核とした左右対称のパワートレインがもたらす重量バランスの良さとの相乗効果によって、安定した高速走行と俊敏なコーナリングを実現し、スバルの安全思想と走る愉しさを支える中核の技術となっています。

富士重工業は、これからもブランドステートメント“Confidence in Motion”を通じ、スバルならではの魅力ある「確かなクルマづくり」を貫き、世界中のお客様へ「安心と愉しさ」を提供してまいります。

\*1: OEM 車等を含む



水平対向エンジン EA52 型  
(1966年 スバル 1000 に搭載)



水平対向エンジン FB25 型  
(現行レガシィに搭載)